

群馬県支部

県内農業経営の担い手の現状と課題～自立する農業経営を目指して～

1. 群馬県農業の現状と課題

- (1) 高齢化・後継者難で販売農家から自給的農家に移行する者が増え、増加していた新規就農者数の伸びは頭打ちとなったが、非農家出身新規参入者は増加傾向
- (2) 品目横断的経営安定対策の利用者は半数以下で、経営課題は適正利益の確保、高齢化や労働力確保、環境問題等、改善方策は、生産技術向上や経営管理強化とそのためサポートが重要 など。

2. 新たな担い手の展望

- (1) 新規就農者促進のためのポイントは、幅広い情報提供、農業研修制度の充実、就農資金支援の充実、農地・住宅の確保、技術指導・経営指導等の経営定着化への支援、販売ルート確保 など
- (2) 次世代後継者育成・支援のポイントは、農業後継者として受け入れられる経営基盤、「儲かる」農業の指導、栽培技術等の生産技術や流通販売や経営管理等の基礎的知識の習得、幼少期から農業に触れ「農業が好き」になるような方策、実習・研修等により経営的役割分担を明確にし、後継者としての意欲と責任感を持たせる、意欲と希望を与える行政・関係機関等の継続的支援や組織間の連携交流による情報交換等 など。

3. 農業経営の将来方向

- (1) 先進的農業法人に学ぶポイントは、企業的感觉の導入・経営と家計の分離・法人化等による家業から企業への成長、データによる経営分析をもとにした近代的農業経営、中核農業法人が近隣農家と連携し販売・与信・資材調達等のセンター機能を担う、近隣住民や一般消費者に農村・農業・農畜産物への関心を高めてもらうための交流、同業者だけでなく加工業者・流通業者・飲食店・産廃処理業者等の異業種とも連携、各種研修・セミナー・フェア・異業種交流会等に参加し多様な人材交流に努める、安全・安心・環境リサイクル対策に取り組む、付加価値の高い加工事業や自社ブランド商品や付加価値商品の開発、コンピュータ化と機械化による効率的経営や適正規模経営、適地適作、安全・安心で美味しい品質の良い農畜産物を提供することにより徹底して消費者志向を实践、トレーサビリティに対する社会的要請に応えるためホームページ等で栽培履歴を公開、休暇・賞与・福利厚生が明確で、楽しく、やりがいのある、若い人たちのヤル気が出る農業、新規就農希望者を研修生として積極的に受け入れ独立も支援、計画的に人材育成を進め、経営管理体制を強化する など。

- (2) J Aの今後の役割への期待のポイントは、先進的農業法人・新規就農者・生きがい農業者等を含めた多様な農業者を柔軟に受け入れられる体制を築き、J A役職員の戦略的人材開発に取り組んだ上、J A出資の農業生産法人による地域の農家の支援、J Aと農業法人・他のJ A・異業種業界等との連携、後継者の育成・新規就農者への技術指導等々の戦略的役割をも担うこと など。

4. 提 言

- (1) 社会的啓蒙活動
- (2) 新規就農者の促進
- (3) 次世代後継者の育成・支援
- (4) 企業的感觉の導入と農業経営の企業化
- (5) 先進的農業法人の更なる高度化
- (6) J A等農業関連機関の新たな役割への期待